



砺波工業株式会社 様

土木・建築の総合建設業である同社は、多くの施工実績に裏打ちされた「信用・技術・知恵」が強み。2019年に自社施工した本社新社屋は、一部をイベントスペースとして地域にも開放している。

導入事例 勤怠管理システム

現場の残業時間を削減する 勤怠管理の方法とは？

建設業特有の「現場管理」の視点で、各現場の勤怠実績を正確に記録・管理できるようにし、働き方改革のきっかけづくりに成功した事例をご紹介します。

取材協力
総務部 榎尾 公隆 様

導入事例
完全版を見る >>



課題

- ・法規制や就業規則に沿った勤怠管理
- ・現場人員の適切で柔軟な配置
- ・勤怠管理の効率化

効果

- ・勤務実態の見える化で意識に変化
- ・現場人員の適切な配置への一歩
- ・勤怠データ集計作業時間50%減

減らない残業、見えない勤務実態

システム導入の一番のきっかけは働き方改革でしたね。建設業では、2019年4月に施行された改正労働基準法の「時間外労働の上限規制」に対して5年間の猶予がありますが、『今のままではまずい』と思いました。

以前の勤怠管理は、紙の出勤簿を使った運用でした。土木部や建築部では1ヶ月分の実績を月末にまとめて記入する習慣になっていたのですが、月中に社員の勤務実態を把握しにくい状況だったのです。そんな状況もあって、『各現場の状況をリアルタイ



ムに把握できるようにしたい』との声がありました。現場では残業がなかなか減らない状況だったので、勤怠管理をシステム化することで、『現場作業の実態把握にも活用できないか？』と考えました。

給与システム連携と柔軟なカスタマイズ

システム選定の一番の決め手は、当社が以前から利用しているHCSさんの給与システムとの親和性が高い点でした。他社のシステムだとデータ連携の部分でどうしてもカスタマイズが必要ですが『HCSのシステム同士であればデータ連携がスムーズだ』という説明を受けました。

また、改正法や当社の就業規則に準拠した運用が実現できることもシステム選定の条件だったので、柔軟なカスタマイズが可能な点も決め手でしたね。

「現場の実態把握」を重視した勤怠管理

勤怠実績をスマホで登録できることが必須条件でした。シンプルな画面でとても使いやすいので、現場作業業者も毎日入力してくれます。また、



スマホで打刻・申請

勤怠管理では部署などの「組織」単位の管理が一般的ですが、「現場」単位の管理することにもこだわりました。おかげでタイムリーに各現場の勤務実態が把握でき、『ムダな残業を減らすためにはどうすればよいか？』と考えるきっかけになりました。

同じお悩みを持つ皆様へひと言

勤怠管理をシステム化して、今まで見えていなかった勤務実態が見えるようになったことで、変わらなければいけないという雰囲気になりました。これをきっかけにして、みんなが健康で楽しく仕事ができるようになればよいですね。

2024年の「時間外労働の上限規制」適用まであと2年あまりですが、システムを導入してもすぐには効果が表れません。当社も今年の4月にシステムが本格稼働して、ようやく実態が見えてきたところなので、早めの対応をおすすめします。

「感謝」の気持ちと「技術」で応える
感動につながる仕事づくり

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

株式会社 砺波工業株式会社

代表取締役社長 上田 信和
砺波市中央町1番8号 Tel:0763-32-3105
Fax:0763-32-3887

intertek UKAS 建設業労務管理システム 登録事業者 No.1500

News

電子保存の義務化が
2年猶予されます

(2022年1月施行、改正電子帳簿保存法)

<改正電子帳簿保存法のPoint>

電子取引情報の電子保存義務化

→ 2年猶予

先月号で「改正電子帳簿保存法のPoint」をご紹介しましたが、領収証の電子保存義務化などが2年猶予されることになりました。

準備期間ができたわけですが、電子化のための社内ルールの制定と周知、システムやサービスの選定、試行など、やるべきことが山積みです。早いうちに着手されることをおすすめします。

HCSでは、改正電子帳簿保存法に対応した製品・サービスをご用意しております。貴社に合った対策をご提案させていただきます。ぜひご相談ください。

事例集

勤務状況の見える化などを解決した、
人事/給与/勤怠管理の6つの解決事例

人事/給与/勤怠管理システムの導入事例をまとめました。課題を「どのような方法で改善したのか?」、その結果「どんな効果が得られたのか?」きっと業務改善のヒントが見つかるはずです。ぜひアクセスしてみてください。

<事例集の目次>

- (1) シンプルな運用で、給与明細のWeb配信を実現
- (2) 間接部門のバックオフィス業務を改善し、Excel管理から脱却
- (3) 勤務データの一元化で、従業員の勤務状況を見える化
- (4) 勤務実績のタイムリーな記録により、労務管理を効率化
- (5) 勤怠管理システム刷新により、従業員の勤務意識が変化
- (6) 人事・給与データのマスター一元化で、より正確な労務管理を実現

また、貴社と弊社だけの個別セミナー「労務管理システムの導入手順と選び方セミナー」の申し込みを受け付け中です。個別セミナーですので、貴社ではどのように労務管理を改善していくべきかもご相談いただけます。お気軽にお申し込みください。

>> 事例集を見る



>> セミナーの詳細を見る



HCSのよこが

ネットワークソリューション部

たかお みのり
高尾 自然さん

Q. 業務内容を教えてください。

北陸3県のお客さまや自社向けに、ネットワークに関する提案、設計・構築を行っています。

事前に障害を想定し設計、さらに疑似環境で耐障害テストを入念に行うことで、お客様の業務が止まらないネットワークの構築に努めています。ときには、瞬断100ミリ

秒を縮めるために、あらゆる機器の組み合わせを試し、チューニングしたこともありました。この仕事は、責任が重い反面、やり切った後の達成感があるのが魅力です。

Q. 新年の抱負をお願いします。

若いころに努力をしたからこそ、楽しんで業務に臨んでいる上司を目標に、入社してから今まで、とことん学び、知識を得てきました。入社4年目を迎える今年は、知識を活かす年にしたいです。

編集後記

新年あけましておめでとうございます。今年2022年は「壬寅(みずのえとら)」にあたり、芽を出したものが成長する、これから成長する物事の始まる年と言われています。皆様にとって明るい1年になりますことを祈念しております。

昨年は『HCS NewsLetter』をご愛読いただき、誠にありがとうございました。今年は、事例をより詳細に記載した『Web版 HCS NewsLetter』の充実にも注力してまいります。また、これまで以上にお役に立つ情報を発信するため、是非、皆さまからのご意見をいただきたく、右の『HCS NewsLetter ご意見箱』にご意見をお寄せください。本年もHCSをよろしく願いいたします。(まつお)

皆さまのご意見をお聞かせください

より役立つ情報掲載のため、皆さまの「気になる」「知りたい」コト、掲載記事のご感想などをぜひお聞かせください。

>> 『HCS NewsLetter ご意見箱』への投稿はこちら

全カパートナー



北陸コンピュータ・サービス株式会社

NewsLetter 編集室

TEL : (076)495-9824 HP : https://www.hcs.co.jp/